

第6章 医療提供体制の整備

復旧・復興も緒に就いたばかりで未だ流動的な部分も多いことから、令和8年度に予定されている計画の中間見直しの際に、災害の影響を踏まえた改定を行うこととする。

施策・指標マップ

番号	A 個別施策	番号	B 指標	番号	C 目的
1	【へき地医療の確保】 ・へき地医療拠点病院が行う巡回診療等への支援 ・へき地医療拠点病院が行う遠隔診療の活用	1	へき地医療の確保 指標1 無医地区等への巡回診療実施回数 指標2 へき地医療拠点病院における遠隔診療の実施回数	現状 207 (R4) 25,139 (R4)	1 へき地における医療提供体制の充実 指標 地域住民が必要とする医療サービスの提供
2	【へき地における医師の確保】 ・自治医科大学卒業医師のへき地医療拠点病院等への派遣 ・金大特別特任医師のへき地医療拠点病院等への派遣	2	へき地における医師の確保 指標 標準化医師数（能登北部医療圏）	現状 101 (R2)	
3	【へき地における看護師の確保】 ・看護師修学資金の貸与を活用した看護師就業促進 ・勤務環境改善のための研修会の開催 ・高校生を対象に看護の魅力講演会の開催	3	へき地における看護師の確保 指標 人口10万人対就業看護師・准看護師数（能登北部医療圏）	現状 1,350.0 (R4)	

数値目標

分類	指標		現状値	目標値	
	名称	出典・説明		R8年度 (中間年)	R11年度 (最終年)
プロセス 指標	無医地区等への巡回診療実施回数	へき地医療現況調査	207回	維持	維持
プロセス 指標	へき地医療拠点病院における遠隔診療の実施回数	地域医療推進室調べ	25,139回	維持	維持
ストラクチャー 指標	標準化医師数（能登北部医療圏）	「医師・歯科医師・薬剤師統計」等を用いて、厚生労働省において算出・公表	101人	維持	—
ストラクチャー 指標	人口10万人対看護師・准看護師数（能登北部医療圏）	業務従事者届	1,350.0人	維持	—

<標準化医師数>

厚生労働省が、医師・歯科医師・薬剤師統計を基に、医師の性・年齢構成を踏まえ算出したもの